

令和8年度 予算編成方針

行 財 政 局 長

1. 本市の財政状況と今後の見通し

本市は阪神・淡路大震災により、一時は危機的な財政状況に陥る中、徹底した行財政改革の断行により、健全化判断比率は着実に改善し、指定都市の上位程度にまで回復した。

しかしながら、国際環境の不確実性等に起因する長引く物価高騰などにより、市民の暮らしや事業者の経営環境に対する支援をはじめ、公共事業費の増嵩等への対応など、追加の財政需要が生じている。さらに、全国的な少子高齢化に伴う人口の自然減に直面し、本市においても想定を超えるスピードで人口減少が進んでいる。

このような中でも、将来にわたって、神戸が持続可能な大都市を実現していくためには、今般の物価高騰などへの対応に加え、従前からの課題である少子高齢化の進展に伴う社会保障関係費の増加や人口減少時代にふさわしいまちづくりへの対応を可能とする外的要因に左右されない強い財政基盤の確立が重要である。しかしながら、物価高騰の見通しなど社会経済情勢は依然として不透明であり、今後の財政運営にあたっては引き続き、危機感を持って臨む必要がある。

2. 予算編成の基本的な考え方

令和8年度予算編成にあたっては、物価高騰対策はもちろんのこと、人口減少時代にふさわしい持続可能なまちづくりに全力で取り組む。

そのためには、神戸空港の国際化の好機を逃すことなく、都心・ウォーターフロント、既成市街地・ニュータウン、森林・里山の3つの再生を新たな発想のもとで取り組むなど、新たな国際都市へと進化するよう、神戸が持つ力を最大限に開花させていくことが求められる。そして、将来世代が過度な負担を背負い込むことがないように、堅実な財政運営と果敢な成長戦略により、さらなる都市の成長を促す好循環を創出し、市民一人ひとりの暮らしの豊かさへと着実につなげていく必要がある。

これらの考えのもと、全国的な人口減少局面においても、スピード感を持ち、先駆的な施策を実現するため、以下の5つの柱に沿って予算の中身を大胆に重点化する。

- 1 強靱で力強いまちづくり
- 2 人間らしいあたたかいまちづくり
- 3 グローバル社会に羽ばたくまちづくり
- 4 海と山を感じる美しいまちづくり
- 5 対話と参加が進むまちづくり

3. 予算要求・財源配分にあたっての考え方

今年度末に策定する「神戸 2030 ビジョン」に掲載予定の施策等、特に優先的に取り組むべき施策については、予算の要求上限を設けないこととし、上記の財政状況等を踏まえ、徹底した議論を行うとともに、長期的な財政負担への影響を鑑みた予算編成に取り組み、選択と集中により財源を配分する。

一方で、持続可能な財政運営を行っていくためには、全ての職員が「やめる勇気」を持って、事務事業の見直しや業務改革、組織の最適化等による総人件費の抑制を着実に進める必要がある。

そのため、別紙「令和 8 年度予算編成に向けた事務事業の見直し候補一覧」に掲げる項目については、今後の予算編成過程において各局室区と見直しの検討・協議を行う。

なお、事務事業の見直しにあたっては、特に以下の視点をもって、前例にとらわれない例外なき事務事業の見直しを強力かつ着実に実行していく。

- ① 時代適合性、受益と負担、事業の持続可能性、事業の大括り化、施策目標に対する効果検証等の視点により、「やめる・へらす・かえる」の見直しに取り組む。
- ② デジタル技術の活用やデータの利活用・EBPM の推進、内部管理事務や業務執行体制・手法の見直しにより、人的コストを最小化する観点も含めて効率化・省力化に取り組む。
- ③ 既存施策について、人口減少時代などの社会情勢の変化に対応したものへと転換をはかる。

令和 8 年度予算 経常概算 財源の見通し

I. 充当一般財源の状況

(単位：億円)

	R 8 年度経常概算	R 7 年度予算	増△減
充当一般財源	5,181	5,056	125
市税	3,441	3,314	127
譲与税・交付金	665	657	8
交付税・臨時財政対策債	937	947	△10
その他	138	138	-

II. 所要一般財源の状況

	R 8 年度経常概算	R 7 年度予算	増△減
所要一般財源	5,141	5,056	85
義務的経費	3,854	3,746	108
人件費	1,858	1,830	28
扶助費	1,305	1,259	46
公債費	691	657	34
投資的経費・物件費等	1,287	1,310	△23

※定年延長に伴う退職手当の平準化による影響は、一般財源負担を伴わないことから上記数値から除いている。

Ⅲ. 財源の見通し

(単位：億円)

I

8 年度経常概算
充当一般財源

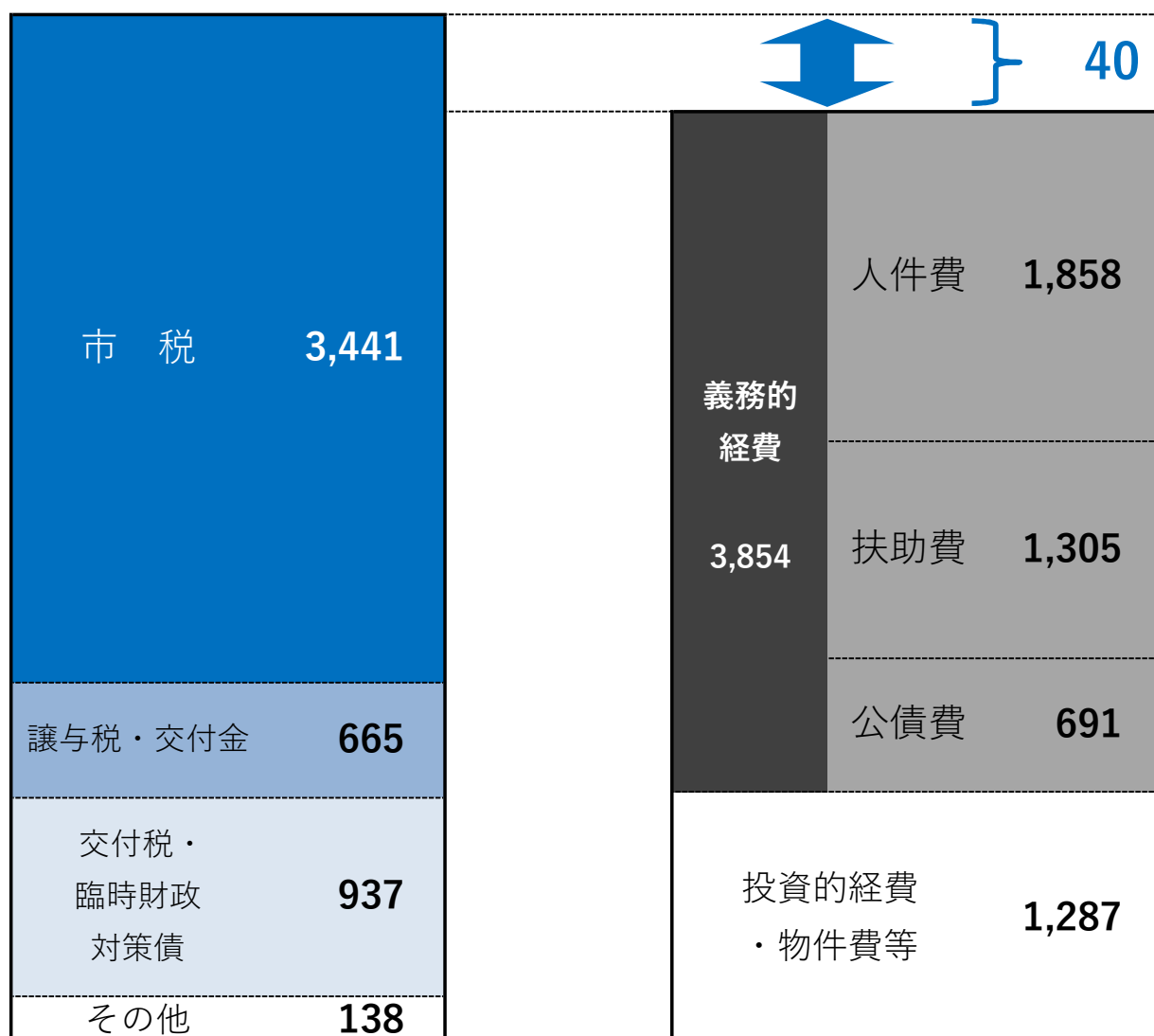
5,181

II

8 年度経常概算
所要一般財源

5,141

政策予算（新規・拡充）
充当可能財源



※計数等については、今後の税制改正や地方財政対策の状況等を踏まえ、精査・置換えを予定

令和8年度予算編成に向けた事務事業の見直し候補一覧

別紙

No.	所管局	事業名	方向性	概要	見直し案	R7当初 予算 (千円)	うち 一般財源 (千円)
1	各局	全庁的な事業の大括り化	整理・効率化	全庁的な事業の統合・廃止	事業目的が類似している事業の統合・廃止による事務負担や経費の削減	-	-
2	企画調整局	専用コールセンターの見直し	整理・効率化	各局室で設置している専用コールセンターの運営	問い合わせ数や同種窓口の有無等の観点から各専用コールセンターの統合・廃止等を検討	-	-
3	企画調整局 行財政局	働き方改革（業務改革）	整理・効率化	「やめる・へらす・かえる」の視点に基づいた業務改革の遂行	行政手続きスマート化とBPRによる効率化・DXの推進	-	-
4	地域協働局	企業版ふるさと納税	整理・効率化	民間企業の市政への参画推進による企業版ふるさと納税の受入れ	金融機関や民間事業者などのネットワークを活用した企業への働きかけの強化による寄付受入額の確保、及び人材の確保・人件費の効率化	-	-
5	行財政局	税務業務改革	整理・効率化	ICT活用等による市民サービスの向上と適正課税の推進	行政手続きの電子化等DXの推進による業務効率化・体制のスリム化	547,074	547,074
6	健康局	救急需要対策	整理・効率化	緊急性や受診の必要性をアドバイスする救急医療相談と受診可能な医療機関を案内する救急安心センターの運営	令和7年7月11日からの兵庫県全域への対象エリア拡大に併せて運営主体を神戸市から兵庫県に移管	133,410	93,011
7	環境局	路上喫煙等実態定点調査	廃止	路上喫煙者数、たばこの吸殻数の調査	短期でなく中長期的に効果検証を行うべきであり、毎年度実施している本調査については廃止を検討	4,510	4,510
8	こども家庭局	市民アンケートのweb実施	整理・効率化	「神戸っ子すこやかプラン2029」の点検・評価のためアンケートを実施	アンケート手法を紙からwebへ変更し、データ集計業務にかかる事務負担や経費の削減を検討	-	-
9	建設局	街路樹の維持管理	整理・効率化	街路樹再整備方針に基づく、街路樹の更新や撤去等により、効率的な維持管理を推進	交通安全の支障となる木や危険木等の伐採による安全確保と効率的な維持管理、及び管理品質の更なる向上を目指し包括管理委託の推進を検討	-	-
10	建設局	公園の維持管理	整理・効率化	人口減少・超高齢社会を見据えた今後の公園・緑地の管理運営	立地・利用状況等に基づく公園の管理運営の見直し、及び地域・企業との連携による新たな公園・緑地の活性化策の推進を検討	-	-

令和8年度予算編成に向けた事務事業の見直し候補一覧

別紙

No.	所管局	事業名	方向性	概要	見直し案	R7当初 予算 (千円)	うち 一般財源 (千円)
11	建設局	雑草対策	整理・効率化	道路の除草作業	新工法を活用した防草対策の実施による、除草作業の削減を検討	-	-
12	都市局	交通量実態調査	整理・効率化	新都市整備事業区域の主要道路における交通量調査を毎年実施	毎年実施している交通量調査の実施頻度の見直しを検討	15,500	15,500
13	行財政局 建設局 都市局 建築住宅局	土地利活用・処分促進 方策の検討	整理・効率化	市が所有する郊外・既成市街地に点在する未利用地等の利活用	多様なライフスタイルに対応した住宅供給に向けて、低・未利用市有地の積極的な公募を実施	-	-
14	建築住宅局	マンション管理支援事業	整理・効率化	マンション管理状況の実態把握と状況に応じた管理適正化支援	令和8年7月よりマンション管理状況の届出を義務化することから、高経年マンション外観調査の廃止を検討	49,682	29,811
15	建築住宅局	市営住宅の住み替え制度	廃止	子育て世帯の住み替え用ストック確保のため、広い部屋に入居している単身世帯等が、狭い部屋へ移転する際の費用を負担	過年度実績が僅少であり、既存のストックで子育て世帯のための部屋を確保できることから、廃止を検討	1,080	594
16	教育委員会	学校施設管理員	整理・効率化	各学校園における校地・校舎の環境整備、安全管理、パトロール、教育委員会等との連絡業務	一部の小・中学校の学校管理業務において人材派遣の活用等により体制を効率化	387,898	387,898